

**5/20**に、とリアート・メイン事業部会が倉吉未来中心にて開催されました。その席で、先般のプレイベントの報告をさせていただきましたが、おおむね好評であったとの感触を持ちました。ありがたいことです。

ところで、5/20より売り出した「魔笛」公演の指定席チケットが徐々に売れています。毎日、数枚ずつお買い求めの方が事務局にお出でになります。関係者の皆様も早めの購入をお勧めします。

□6月20日より開始される、オペラ「魔笛」の練習会ピアニストがけっていしました。下記の通りです。

### 魔笛練習会ピアニスト担当

6/20 中村レッスン Piano⇒ 渡邊、尾坂	21 中村レッスン Piano⇒ 伊賀奈、尾坂
27 田島コレペティ Piano⇒ 尾坂	28 田島コレペティ Piano⇒ 重道、稲毛
7/11 中村立ち稽古 Piano⇒ 新田、尾坂	12 中村立ち稽古 Piano⇒ 伊賀奈、稲毛
19 副指揮者 Piano⇒ 重道、尾坂	
8/ 2 松岡レッスン Piano⇒ 重道、新田	8 中村立ち稽古 Piano⇒ 尾坂、新田
9 中村立ち稽古 Piano⇒ 渡邊、稲毛	22 演出補 Piano⇒ 尾坂
23 演出補 Piano⇒ 伊賀奈、尾坂	29 中村立ち稽古 Piano⇒ 稲毛、新田
30 高折ディクシヨンプiano⇒ 伊賀奈、渡邊	
9/ 5 副指揮者 Piano⇒ 稲毛、新田	6 副指揮者 Piano⇒ 伊賀奈、重道
12 松岡・中村 Piano⇒ 稲毛、新田	13 松岡・中村 Piano⇒ 伊賀奈、渡邊
19 副指揮者 Piano⇒ 尾坂	20 副指揮者 Piano⇒ 重道
26 演出補 Piano⇒ 渡邊、新田	27 演出補 Piano⇒ 伊賀奈、稲毛
10/3 中村立ち稽古 Piano⇒ 渡邊、新田	4 中村立ち稽古 Piano⇒ 伊賀奈、尾坂
10 演出補 Piano⇒ 渡邊、稲毛	11 演出補 Piano⇒ 伊賀奈、重道
17 松岡オケ合せ Orchestra	18 松岡オケ合せ Orchestra
23 演出補 Piano⇒ 新田	24 演出補 Piano⇒ 尾坂、稲毛
31 副指揮者 Piano⇒ 渡邊	
11/1 中村通し稽古 Piano⇒ 渡邊、伊賀奈	2 中村通し稽古 Piano⇒ 渡邊、新田
3 演出補 Piano⇒ 尾坂、稲毛	7 松岡オケ合せ Orchestra⇒
8 松岡オケ合せ Orchestra⇒	12 中村場当たり Piano⇒ 稲毛
13 中村場当たり Piano⇒ 新田	14 ゲネプロ Orchestra
15 本公演	

□今後のコレペティ練習会「6/27と28の2日間」の内、6/28は当初予定に入っていませんでしたので、参加可能かどうかの状況をお知らせください。田島亘祥氏のレッスンを受けてから、松岡レ

**ッスンに臨んでほしいとの要請があります。都合の悪い方のみお知らせください。ゲスト歌手の方について、参加の有無をお知らせください。**

ロアザレアのまち音楽祭のHPに、あいさつのPart 2が掲載されましたので、ご紹介します。

ごあいさつ Part. 2

## 進化する演奏家たち

今年のアザレアのまち音楽祭は、33年間の歴史の中で、オープニングコンサートに最も多くの聴衆を集め、それらの皆さんに真摯に聴いていただき、音楽の素晴らしさを堪能していただけたようです。なおかつ、聴衆の皆さんから寄せられた賞賛の嵐を体験することになり、主催者としてこれほど嬉しいことはありませんでした。ありがたいことです。

普段のオープニングは、アザレア室内オーケストラの演奏が中心ですが、今回のように、他の組織と協働するコンサートはこれまで再三体験しています。特に米子第九合唱団とのモーツァルトやフォーレのレクイエム、そして昨年のロッシーニのスタバトマーテルの大成功を基に、今回の魔笛ガラが受け継がれたものと喜んでおります。今回の魔笛ガラは、この秋に開催されるとりアートオペラ公演のプレイベントであり、その中心となった鳥取オペラ協会のスキル進化の賜物だと感じています。特に、鳥取県には存在しなかった素晴らしいソバス歌手(琴浦町在住)の登場には、聴衆を驚嘆させるものとなりました。そして何よりも鳥取オペラ協会のソリストたちのスキルアップは著しく、夜の女王に挑戦したソプラノの、高音域で装飾的にも技巧的にも天性の資質が必要だと言われたアリアを、正確なピッチで歌いきった力量が、聴衆に大きくアピールしました。ゲスト歌手として参加いただいた二人のテノール歌手の力強い歌唱力には圧倒されるものがあり、秋の本公演を成功させるに必要な大きな原動力であることを再確認いたしました。

私たち「アザレアのまち音楽祭」は、地域に在住する音楽家の演奏レベルと、その質と活力、様式の多様性、レパートリーの幅の広さを担保する演奏家を地域に遍在させることが大きな目標です。その目標は、この33年間と言う長いスパンの間で、かなり培われてきたと思います。その音楽文化の醸成に最も大きく貢献したのは、2004年の国民文化祭の開催であり、その成果を一過性のものにならないために立ち上げた県民芸術文化祭であり、芸術文化団体育成の究極は、県文化団体連合会組織の助成金システムであると思います。この仕組みは、片山県政から引き継がれ、更なる拡充を図る平井県政の優れた文化行政の賜物だと肝に銘じています。

このように進化する音楽祭環境を長年にわたって作り上げることが出来たのは、芸術に忠実で寛大な資金提供を続けてくださったスポンサーや協賛の皆様です。そしてどこまでも進化するオーケストラ指導者と参集していただいたプレイヤーの皆様です。それを、献身的に、スタッフとして、アートマネジメントして頂き、達成できたものと感謝申し上げます。音楽祭は、始まったばかりですが、どうぞ、アザレアのまち音楽祭を、お楽しみください。

とりアート魔笛公演総合プロデューサー

計羽孝之(携帯 090-1351-7574)mail:figarofigaro@do4.enjoy.ne.jp

とりアートオペラ公演事務局 682-0817 倉吉市住吉町 77-1 TEL0858-23-6095